

第 3 回 釧路市中心市街地活性化協議会 議事録

日 時：平成 22 年 3 月 29 日（月）13：30～14：30

場 所：道東経済センタービル 5 F

出席者：委員 17 名・事務局・オブザーバー 17 名、タウンマネージャー

1．開会

事務局より開会を宣した。

2．会長挨拶

第 3 回釧路市中心市街地活性化協議会開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、オブザーバーの皆様方を始め、委員の皆様方には、公私共に大変お忙しいところ、ご出席を賜りまして誠に有り難うございます。

中心市街地活性化基本計画策定に向けて素案の、基本的事項については、既にご理解を頂き進めておりますが、商業を含めた核となる具体的な事業化への体制づくりがまだ見えて来ておりません。

今年度は、北大通りの地区を想定したハード事業の検討案による都市再生の実現と中心市街地活性化の推進に向けて、地権者の意向確認調査を進めて来ております。

また、ソフト事業への対応もあわせて実施しております。

本日は、年度内の協議会事業報告並びに事業計画についてご審議いただきますが、今後の基本計画の構築に向けてご参会の皆様方の忌憚のないご意見を賜りますようお願い申しあげ、簡単ですが、ご挨拶とさせていただきます

事務局長より、規約 13 条 3 項により会長議長となり、議案の審議に入る旨説明

3．議事

会長議長により議事進行

- (1) 平成 21 年度事業報告並びに収支決算見込みについて
山本議長より事務局へ説明を指示。

<平成 21 年度事業報告>

事務局より説明された。

当協議会は平成 20 年 7 月 15 日に設立し、平成 20 年 7 月に釧路市が作成した「釧路市中心市街地活性化基本計画骨子(案)」を受け、協議会委員をはじめ関係者への計画内容を周知協議、「基本方針」「区域」「目標」については大筋での同意を得ている。今年度は商業を含めた核となる具体的な事業体制、素案作りを中心に検討協

議した。

1. 総合調整事業

- ・エリア開発地域計画素案に基づく地権者に対する協力要請
- ・釧路市庁内プロジェクトの検討
- ・中心市街地ハード事業への支援
- ・中心市街地ソフト事業への支援
 - 北の商人塾
 - 賑わい作り
- ・釧路川リバーサイドフェスタ
- ・くしろショーウインドウギャラリー
- ・駅西商店街バス調査事業

2. 会議

- ・第一回運営委員会 平成 21 年 5 月 14 日
- ・第一回中心市街地活性化協議会 平成 21 年 9 月 7 日
- ・第二回運営委員会 平成 22 年 2 月 25 日
- ・第二回中心市街地活性化協議会 平成 22 年 3 月 29 日
- ・ワーキンググループ（商業者・事業者との会合）100 回
- ・事務局会議 62 回
- ・フォーラムの参加 平成 21 年 11 月 20 日
- ・北海道地域中心市街地活性化ネットワーク交流会参加 平成 22 年 2 月 19 日

3. 調査研究事業

- ・各種調査等の実施及び検討

4. 発信事業

- ・ホームページによる会議開催結果発信

5. タウンマネージャー業務

< タウンマネージャー活動報告 >

大瀧タウンマネージャーより、活動の報告された。

1. 市街地開発

再開発構想の提案
地権者意向調査

2. 空きビル再生、空き店舗再生

空き店舗情報発信
入舟 4 丁目 旧港町ビル再生計画
北大通 10 丁目 旧ベスト電器跡ビル再生計画
駅前大通地区

3. 北大通周辺的环境・基盤整備

中車体の設置
歩道のバリアフリー化要望

釧路駅改修の要望

4. その他

商人塾の開設

駅西商店街バス調査事業

リバーサイド パラソルショップ

高校美術部アート展の実施

歩行者天国の創出

議長

本件について議場に質疑を諮った。

質問 委員（交通・観光）

リバーサイドでパラソルショップという事業があったという事ですが、ここには、『リバーサイドを盛り上げ 2010 年度に繋げるべく実行委員会と連携していく。』と書いてあり、大変素晴らしい事業であったと理解しますが、これに対して「参加者」「効果」「問題点」等、もう少し詳しい内容が、わかれば教えて頂きたい。

回答 タウンマネージャー

現時点では、前年度に立ち上げた実行委員会で今年度も引続き継続していくという事になっております。ただ、昨年が第 1 回目ということから、事前の宣伝活動等の内容で準備不足といった部分がありました。また、夕日に遊ぼうというタイトルを掲げている事から、開催時期や内容等はある程度限られてくるかと思いますが、もう少しイベント等盛り上げられる内容を組み込むなど、今年度は十分に準備期間が持てるのではないかと考えており、それらを詰めながら開催に向けて活動していきたいと考えております。

< 平成 21 年度収支決算見込み >

事務局より説明された。

収支決算予定額

収入 7,869,661 円 - 7,563,796 円 = 繰越予定額 305,865 円と報告

戦略補助金 3,200,000 円

議長

本件について議場に諮ったところ異議なく全会一致で承認された。

(2) 平成 22 年度事業計画 (案) 並びに収支予算 (案) について

議長より事務局へ説明を指示。

< 平成 22 年度事業計画 (案) >

事務局本間次長より説明された。

- ・協議会の役割
- ・協議会の事業
 - 1．総合調整事業
 - 2．会議
 - 3．調査研究事業
 - 4．情報発信
 - 5．タウンマネージャーの業務内容

TM 大瀧氏に引き続き協議会活動推進業務を行なって行く。年間 120 日（H22.4.1～H23.3.31 業務委託契約締結）と、年間計画書を提案。

続いて大瀧タウンマネージャーより中心市街地活性化事業推進スケジュールを説明された。

<平成 22 年度収支予算（案）>

次に、事務局より説明された。

収支予算（案）

収入 5,505,865 円 - 5,505,865 円（TM 委託費 5,040,000 円他）= 0 円

戦略補助金 3,200,000 円

議長

本件について議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

全ての案件の終了を告げ、議事を終了した。

高橋事務局長より、閉会を宣す。

以上により、終了閉会。